

次世代育成事業・第3回まつやま活性化コンテスト
募集要項

【開催の趣旨】

松山市のまちづくりの方針を示した「第6次松山市総合計画」は、10年間の計画期間の折り返しを迎え、平成30年度から「後期基本計画」に基づいた施策が松山市全体で推進されています。また、地方創生の取り組みに代表されるように、各地域がそれぞれの特性を活かした独自のまちづくりを行っていく必要があります。地域に住み暮らす我々一人ひとりが地域の課題を「自分ごと」と認知し、課題解決に向けあらゆる個人や団体が協働して様々な取り組みを行うことが重要です。本コンテストは、行政の戦略を画一的な政策にとどめることなく、地域の現状を鑑み、民間の視点を取り入れることで、これまでにない斬新な発想で施策を打ち出し、官民一体となった地域活性化の道筋を打ち出していくために実施します。

【主催】

公益社団法人松山青年会議所

【後援】

松山市・松山市社会福祉協議会・平成船手組・三津浜地区まちづくり協議会
愛媛大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学・学校法人聖カタリナ学園
学校法人河原学園・学校法人松山ビジネスカレッジ・南海放送株式会社
株式会社あいテレビ・株式会社テレビ愛媛・株式会社愛媛朝日テレビ
株式会社愛媛CATV・株式会社FM愛媛・愛媛新聞社(ウィークリーえひめリック)
株式会社えひめリビング新聞社・タウン情報まつやま 順不同

【協力団体】

松山市役所

平成船手組・三津浜地区まちづくり協議会・松山銀天街第1商店街振興組合・NEXT CONEXION 順不同

【名称】

次世代育成事業・第3回まつやま活性化コンテスト

【サブタイトル】

「三津浜に描こう～Create the flow of people～」

【募集期間】

平成30年5月10日～平成30年6月10日

【募集対象】

高校生以上の学生で、2人以上のグループ

【募集テーマ】

三津浜地域に人の流れを作る具体的な事業を応募カテゴリーから企画・立案

【応募カテゴリー】

- 三津浜地域への定住促進を推進する。
- 三津浜地域の資源を活用した体験メニューを推進する。
- 三津浜地域の人口減少に歯止めをかけるアイデアを推進する。
- 三津浜地域の少子高齢化で問題とされる課題を解決する。
- 三津浜地域のその他の課題を解決する。
- 三津浜地域のたからを発掘する。

【応募方法】

応募用紙を松山青年会議所ホームページからダウンロードしていただきメール若しくはFAXでの応募となります。

ホームページアドレス <http://www.matsuyama-jc.or.jp/>

提出先メールアドレス matsuyama.kasseika.contest@gmail.com

提出先FAX番号 **089－943－0149**

【評価のポイント】

- 基本項目（背景、目的、対象者が明確か）
- 将来性（継続できる仕組みになっているか）
- 地域色（独自性があるか）
- 期待性（直接的な効果が期待できるか）
- 協働性（さまざまな人々と協働できる仕組みになっているか）
- 予算性（実現可能な収支計画か）

【グランプリまでの道のり】

<一次審査> 平成30年6月13日～平成30年6月15日（予定）

- 最終審査公開プレゼンテーションに進む4施策と、アイデア賞2施策、を選出します。
- 審査は、松山青年会議所メンバー、協力団体で行います。

<最終審査施策のフォローアップ> 平成30年6月15日～平成30年7月6日（予定）

- 最終審査用のプレゼンテーション資料作成に向け、松山青年会議所メンバーでフォローアップします。

<最終審査公開プレゼンテーション> 平成30年7月7日14時～（予定） 場所 未定

- グループごとに約10分間の施策プレゼンテーションを行います。
- プレゼンテーション後、グランプリ1施策、準グランプリ1施策、優秀賞2施策を選出します。
- 審査は、松山青年会議所メンバー、協力団体で行います。

【結果発表並びに表彰】 最終審査後、同日開催

<グランプリ> 1 施策

■松山市より「松山市長賞」授与

■松山青年会議所より「グランプリ」授与

■賞金2万円授与

■施策実現(平成30年9月～10月(予定))に松山青年会議所主催のもと、実際に事業を行っていただきます。
事業費は限度額20万円程度とします。

<準グランプリ> 1 施策

■松山青年会議所より「準グランプリ」授与

■賞金1万円授与

<優秀賞> 2 施策

■松山青年会議所より「優秀賞」授与

■「三津浜福袋」授与

<アイデア賞> 2 施策

■松山青年会議所より「アイデア賞」授与

【コンテストに参加するメリット】

■前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力の基礎力を育み、社会人基礎力の向上が期待されます。

■地域の課題を深掘りし、施策を企画・立案することで、郷土愛の向上へとつながります。

■民間の視点による施策立案で、地域の新たな発展につながります。

■履歴書の自己アピールポイントに活用することができます。

■施策を松山市役所に発信させていただきます。

【問い合わせ先】

公益社団法人松山青年会議所

次世代育成委員会 委員長 井門 英之

TEL 089-941-0194

matsuyama.kasseika.contest@gmail.com

スムーズな対応を行うため、メールでのお問い合わせにご協力ください。

※審査方法や賞の名称等、一部変更となる場合がございます。変更があった場合、ホームページ内にてお知らせいたします。